

一八五〇番

朝あさな朝あさな 我わが見みる柳やなぎ うぐひすの 来居きゐて鳴な
くべき 森もりにはやなれ

一八五一番

青柳あをやぎの 糸いとの細くはしさ 春風はるかぜに 乱みだれぬい間まに 見み
せむ児こもがも

一八五二番

ももしきの 大宮人おほみやひとの かづらける したり柳やなぎは
見みれど飽あかぬかも

一八五三番

梅うめの花はな 取とり持もち見みれば 我わがやどの 柳やなぎの眉まよ
し 思おもほゆるかも